

# 令和7年度版『現代の国語』年間学習指導計画例

## 1年

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
4	1	<b>豊かに想像する</b> <b>朝のりレー</b> <b>【読む(詩)】</b> 2時間 ◎詩を読んで感じたり想像したりしたことを共有する。(Cオ) ○情景を想像しながら音読し、詩の構成や表現の効果について考える。(Cエ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 詩の構成や表現の効果について考えながら、情景を想像して音読する。 ・本文中の地名の位置を確認し、地球を思い浮かべながら音読する。 ・朝と夜を表す表現に着目し、表現の巧みさについて考える。 →思考の方法【順序立てる】	<b>知・技</b> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1ウ) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにして</u> いる。(Cオ) ②「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) <b>主</b> ・進んで自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説や随筆などを読み、考えたことを伝え合う。(Cイ)
			2	2 詩を読んで感じたり想像したりしたことを共有する。 ・「朝をりレーする」とはということか、考えたことを書く。 ・書いたことをもとに、考えを共有する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。		
		<b>竜</b> <b>【読む(物語)】</b> 4時間 ◎描写をもとに三太郎の心情の変化を捉える。(Cイ) ○擬態語などの表現の工夫に着目して読み、表現の効果について考える。(Cエ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本文を通読し、場面ごとの内容を捉える。 →■二次元コード■ ・本文を通読し、場面の区切りを確認する。 ・場面ごとのできごとをまとめ、タイトルをつける。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2イ) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている</u> 。(Cイ) ②「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) <b>主</b> ・進んで心情の変化などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説や随筆などを読み、考えたことなどを伝え合う。(Cイ)
2	2 描写をもとに三太郎の心情の変化を捉える。 ・「気の弱い微笑」と「気の弱そうな苦笑い」を比較する。 ・二つの表現に表れた三太郎の変化を捉える。 →思考の方法【比較する】					
3	3 擬態語などの表現の工夫に着目して読み、表現の効果について考える。 ・擬声語・擬態語を探し、表現の効果について考える。					
4	4 物語における表現の効果について考えを深める。 ・おもしろいと思ったできごとや表現を探す。 ・おもしろさの理由を考えて、紹介し合う。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■					

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
5		<b>グループディスカッション</b> <b>話題や展開にそって</b> <b>話し合いをつなげる</b> <b>【話す・聞く】</b> 4 時間  ◎話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめる。(Aオ) ○必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめる。(Aエ)	1	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 話題や展開にそって話し合いをつなげるための方法を理解する。 ・話し合い記録から、「話し合いのこつ」を見つける。 ・「話し合いのこつ」のはたらきや効果について考える。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ  <b>思・判・表</b> ①「話すこと・聞くこと」において、 <u>話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。(Aオ)</u> ②「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。(Aエ)	互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う。(Aイ)
		<b>言葉発見 1</b> <b>音声のはたらきとはたらき</b> 1 時間  ◎音声のはたらきやしぐみについて、理解を深める。(知・技(1)ア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 日本語の音節について理解する。 2 五十音図のしぐみについて理解を深める。 →資料編「五十音図とローマ字」 3 イントネーション・プロミネンスについて理解する。 4 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> ・ <u>音声のはたらきやしぐみについて、理解を深めている。(1)ア)</u>  <b>主</b> ・進んで音声のはたらきやしぐみについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		<b>漢字を身につけよう①</b> 1 時間  ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> ① <u>学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている((1)イ)</u> ②事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)  <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
6	2 わかりやすく伝える	読み方を学ぼう① 説明文の基本構造 ペンギンの防寒着 【読む(説明)】 1時間 ◎説明文の基本構造を理解する。(Cエ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 説明文の基本構造を理解する。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 ・「本論」に書かれたペンギンの保温のしくみを読み取る。 ・「序論」「本論」「結論」の役割を捉える。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■	(※「クジラの飲み水」と合わせて評価する。)	-
		クジラの飲み水 【読む(説明)】 4時間 ◎文章の構成や展開など、読み手にわかりやすく伝えるための筆者の工夫を捉える。(Cエ) ○段落と段落の関係に注意しながら、文章の内容を読み取る。(Cア)	1-2 3 4	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章全体の構成と要旨を捉える。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 →読み方を学ぼう① 説明文の基本構造 ・筆者が立てた「問い」に対する「仮説」を見つめる。 ・筆者が立てた「問い」に対する「答え」について、100字程度の文章にまとめる。 2 表現の工夫を捉え、その効果を考える。 ・「仮説」が果たす効果について考える。 →思考の方法[理由づける] 3 二つの文章を読み比べて、考えたことを発表する。 ・「クジラの飲み水」と「ペンギンの防寒着」を読み比べる。 ・読み比べて考えたことを発表し合う。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■	知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) ②「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア) 主 ・進んで文章の構成や表現の効果を捉え、学習課題にそって考えを報告しようとしている。	説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告する。(Cア)
		漢字のしくみ 1 活字と手書き文字・画数・筆順 1時間 ◎活字と手書き文字・画数・筆順について理解を深める。(知・技(1)イ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 漢字の字体、書体の違いを理解する。 2 漢字の画数・筆順について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■	知・技 ①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<p>レポート 調べたことを整理して わかりやすくまとめる 【書く】 5時間</p> <p>◎調べて集めた情報を整理して、伝えたい内容を明確にする。(Bア)</p> <p>○レポートの構成を理解し、表・グラフ・イラストなどを効果的に用いて書く。(Bイ)</p>	1	<p>◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 身のまわりのものやできごとから課題を決める。</p> <p>・身近なものや身のまわりのできごとから「問い」を立てる。</p> <p>・「問い」を手がかりにして、レポートの課題を決める。</p> <p>・予想を立てる。</p>	<p><b>知・技</b></p> <p>・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2イ)</p> <p><b>思・判・表</b></p> <p>①「書くこと」において、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(Bア)</p> <p>②「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(Bイ)</p> <p><b>主</b></p> <p>・粘り強く集めた材料を整理し、学習の見通しをもってレポートを書こうとしている。</p>	<p>本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれをもとに考えたことを書く。(Bア)</p>
		<p>漢字を身につけよう② 1時間</p> <p>◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)</p>	1	<p>1 中学校で学習する漢字を読む。</p> <p>2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。</p> <p>→ <b>二次元コード</b></p>	<p><b>知・技</b></p> <p>①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている((1)イ)</p> <p>②事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1ウ)</p> <p><b>主</b></p> <p>・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
7	3 ものの見方・感性を養う	空中ブランコ乗りのキキ 【読む(物語)】  読み方を学ぼう② 人物相関図 4時間  ◎描写をもとに、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などを捉える。(Cイ) ○登場人物の判断や行動について、自分の考えを確かなものにする。(Cオ)	1 2 3 4	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 登場人物の相互関係を捉える。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・物語の登場人物を整理する。 →読み方を学ぼう② 人物相関図 ■二次元コード■ 2 描写をもとに、場面の展開や心情の変化を捉える。 ・キキの気持ちを場面ごとに捉える。 ・なぜ四回宙返りに挑んだのか考える。 →思考の方法【仮定する】 3 登場人物の言動と相互関係について考える。 ・キキに最も影響を与えた人物は誰か考える。 ・理由をあげながら、考えたこと、想像したことを話し合う。 4 登場人物の判断や行動について、自分の考えを確かなものにする。 ・キキの行動や考えについて自分の考えを文章にまとめる。 ・文章をもとに話し合い、考えを共有する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■	知・技 ①比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 思・判・表 ①「読むこと」において、 <u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</u> (Cイ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(Cオ) 主 ・進んで登場人物の相互関係について描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説や随筆などを読み、考えたことなどを伝え合う。(Cイ)
		文法の窓 1 言葉の単位・文節の関係 3時間  ◎言葉の単位・文節の関係について理解する。(知・技(1)エ)	1-3	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「文法の窓 1」で言葉の単位・文節の関係について考える。 2 「文法のまとめ」「1 言葉の単位」で、言葉のまとまりについて理解する。 3 「文法のまとめ」「2 文節の関係・連文節・文の成分」で、文の基本的なしくみについて理解する。 4 「確認しよう 1」の課題に取り組む。 →■二次元コード■ ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・ <u>単語の類別について理解している。</u> ((1)エ) 主 ・進んで単語の類別について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>字のない葉書</b> <b>【読む(随筆)】</b>  <b>読み方を学ぼう③</b> <b>行動描写</b>  3時間  ◎場面と行動描写などを結びつけて、内容を読み深める。(Cウ) ○描写をもとに、人物像や人物の心情の変化を捉える。(Cイ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 場面と場面、場面と描写などを結びつけて、内容を解釈する。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・手紙・葉書にまつわる思い出について、それぞれの内容をまとめる。 2 2 行動の描写をもとに、人物像や人物の心情の変化を捉える。 ・後半部分について、父の行動の描写を捉える。 ・父の行動から、心情の変化を読み取る。 → <b>読み方を学ぼう③</b> 行動描写 ■二次元コード■ 3 3 「私」の父に対する思いについて考える。 ・今の「私」の父に対する思いについて、昔と比べながら考える。 → <b>思考の方法【比較する】</b> ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 → ■二次元コード■  〈学びを広げる〉 → 書く「随筆」へ ・日常生活でのさまざまな体験を振り返って随筆を書く。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ  <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ)</u> ②「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ)  <b>主</b> ・進んで場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えを記録しようとしている。	随筆を読み、考えたことなどを記録する。(Cイ)
		<b>随筆</b> <b>体験に向き合い意味づける</b> <b>【書く】</b>  5時間  ◎日常生活の体験の中から題材を決め、表現したいことの中心を明確にしてまとめる。(Bア) ○交流を通して、表現のよい点や改善点を見つける。(Bオ)	1	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 日常生活の体験の中から題材を決める。 ・これまで書いた文章や日記を読み返すなどして、体験を振り返る。 → <b>思考の方法【関連づける】</b> ・書く題材を決め、体験を通して生じた思いや考えを書き出す。 2-4 2 表現したいことの中心を明確にしてまとめる。 ・表現したいことを明確にして、全体の構成を考える。 ・体験したことを詳しく具体的に書く。 ・印象に残るように工夫して自分の思いを書く。 → ■二次元コード■ 5 3 交流を通して、表現のよい点や改善点を見つける。 ・書いた随筆を読み合う。 ・構成や描写の工夫などについて、感想や意見を交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ  <b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、 <u>目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(Bア)</u> ②「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ)  <b>主</b> ・粘り強く伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。	随筆を書くなど、感じたことや考えたことを書く。(Bウ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		漢字のしくみ 2 成り立ちと部首 1 時間 ◎漢字の成り立ちと部首について理解を深める。(知・技(1)イ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 漢字の成り立ちについて理解する。 2 漢字の部首と意味の関係について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■	知・技 ①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度を読んでいる((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		私の読書体験 本を読むことのおもしろさ 2 時間 ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解し、読書を通して自分の考えを確かなものにする。(知・技(3)オ、Cオ)	1-2	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 教材文を読み、感想を交流する。 ・本文を通読して、内容を捉える。 ・感じたことや考えたことを交流する。 2 本を選んで読み、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・学校図書館などで、本を選んで読む。 →資料編 読書の広場「小さな図書館」 →■二次元コード■ ・互いに本を紹介したり感想を伝え合ったりする。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■	知・技 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ) 思・判・表 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(Cオ) 主 ・進んで自分の考えを確かなものにし、学習したことを生かして学校図書館などを利用し、多様な情報を得ようとしている。	学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする。(Cウ)
		漢字を身につけよう③ 1 時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	知・技 ①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
9	4 論理的に考える	一〇〇〇円の価値を 考える 【読む(説明)】  読み方を学ぼう④ 三角ロジック  4時間  ◎文章の要旨を捉え、筆者の考えに対して自分の考えをもつ。(Cア) ○文章の構成や展開をもとに、筆者の表現の工夫について考える。(Cエ)	1 2 3 4	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章の構造と内容を捉える。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・筆者の提示する問い(問題提起)について考える。 2 2 文章の要旨を捉える。 ・お金の歴史の流れについて捉える。 ・「日本のお金＝日本の信用」ということについて考え、説明する。 →読み方を学ぼう④ 三角ロジック ■二次元コード■ 3 3 筆者が示す考えをもとに、自分の考えをもつ。 ・キャッシュレス決済について、筆者が示す二つの異なる主張とその根拠を捉える。 ・筆者が示す二つの異なる主張をもとに、キャッシュレス決済の活用について自分の考えをまとめる。 →思考の方法[具体化する] 4 4 筆者の主張に対して自分の考えをもつ。 ・筆者の主張について、自分の考えを文章にまとめる。 ・文章をもとに話し合い、考えを共有する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■	知・技 ①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア ②比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア) ②「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) 主 ・進んで要旨を把握し、学習課題にそって考えをまとめようとしている。	説明の文章を読み、理解したことや考えたことを文章にまとめる。(Cア)
		言葉発見 2 接続する語句・指示する語句  1時間  ◎指示する語句と接続する語句の役割について理解を深める。(知・技(1)エ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 接続する語句について理解する。 2 指示する語句について理解する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ①単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ 主 ・進んで指示する語句と接続する語句の役割について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-



月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>スピーチ 構成を工夫して 魅力を伝える</b> 【話す・聞く】 5時間 ◎日常生活を振り返って話題を選び、自分の考えが明確になるように、構成を工夫する。(Aイ) ○聞き手の反応をふまえながら、表現を工夫して話す。(Aウ)	1 2-3 4-5	<b>◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。</b> 1 日常生活の中から話題を探す。 ・スピーチの内容を考える。 2 自分の考えが明確になるように、構成を工夫する。 ・スピーチの構成を考える。 →思考の方法【順序立てる】 →資料編「メモを活用する」 ・スピーチの練習をする。 3 聞き手の反応をふまえながら、表現を工夫して話す。 ・グループでスピーチを行う。 ・相互評価する。 →■二次元コード■ <b>◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</b>	<b>知・技</b> ・原因と結果、意見と根拠など、情報と情報との関係について理解している。((2)ア) <b>思・判・表</b> <b>①「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(Aイ)</b> <b>②「話すこと・聞くこと」において、相手の反応をふまえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(Aウ)</b> <b>主</b> ・積極的に構成を考え、学習の見通しをもって話そうとしている。	紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。(Aア)
		<b>漢字を身につけよう④</b> 1時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> <b>①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている((1)イ)</b> <b>②事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)</b> <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
10	5 古典に学ぶ	<b>月を思う心</b> 【読む(解説)】 1時間 ◎古典の世界への理解を深め、月と人々との関わりについて考える。(知・技(3)イ、Cア)	1	<b>◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。</b> 1 月と人々との関わりについて考える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・月と昔の人々の生活について想像し、人々の月への思いについて考える。 <b>◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</b>	<b>知・技</b> ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。((3)イ) <b>思・判・表</b> ・「読むこと」において、 <b>文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア)</b> <b>主</b> ・進んで要旨を把握し、学習したことを生かして考えたことを報告しようとしている。	説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを報告する。(Cア)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>竹取物語</b> <b>【読む(古文)】</b>  古文の読み方 古典の仮名遣い  コラム「このあたり」って どのあたり？  4時間  ◎登場人物の相互関係や心 情の変化について、描写を もとに捉える。(Cイ) ○古文の仮名遣いやリズムに 注意して音読し、古典の世界 を感じ取る。(知・技(3) ア)	1-2	◆目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、内容を捉える。 →■二次元コード■ ・歴史的仮名遣いや古典の言葉に注意して音読する。 ・登場人物の相互関係を整理し、物語のあら筋を捉える。 2 登場人物の相互関係や心情の変化について、描写をもとに捉える。 ・主な登場人物の言動から性格を想像し、感じたことを書く。 ・最も悲しんだのは誰か、理由とあわせて考える。 →思考の方法[多角的に見る] 3 古典の世界を感じ取り、現代と比べて考えを広げる。 ・約千年たっても変わらないところと、変わったところを考える。 ・考えたことを話し合う。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> ・音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)  <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</u> (Cイ)  <b>主</b> ・進んで登場人物の相互関係や心情の変化を描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説や随筆などの文章を読み、考えたことを伝え合う。(Cイ)
		<b>故事成語——矛盾</b> <b>【読む(漢文)】</b>  漢文の読み方 訓読の仕方  3時間  ◎話の展開を捉え、表現の 効果について考える。(C エ) ○訓読の仕方を知り、漢文調 のリズムを意識して音読す る。(知・技(3)ア)	1	◆目標を確認し、学習の見直しをもつ。 1 訓読の仕方を知り、漢文調のリズムを意識して音読する。 →■二次元コード■ ・漢文調のリズムに注意して「矛盾」を音読し、話の流れを捉える。 ・訓読の仕方について理解する。 2 「矛盾」の話の展開を捉え、他の故事成語について調べる。 ・「矛盾」の意味の由来について、四つの絵を用いて説明する。 ・他の故事成語について調べ、それを使って短い文章を作る。 3 故事成語の優れた点やおもしろさ、表現の効果について考える。 ・故事成語の優れた点やおもしろさなどについて、自分の考えを書く。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 〈学びを広げる〉 ・故事成語の一つを選び、その物語を四コマ漫画で表す。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> ・音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)  <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。</u> (Cエ)  <b>主</b> ・進んで文章の構成や表現の効果を捉え、学習課題にそって考えを記録しようとしている。	小説や随筆などを読み、考えたことを記録する。(Cイ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		漢字のしくみ 3 漢字の音と訓  コラム 漢字文化をアレンジする日本の力 1 時間  ◎漢字の音と訓について理解を深める。(知・技(1)イ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 漢字の音読みと訓読みについて理解する。 2 同音異字と同訓異字について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■	知・技 ①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度を読むことができる((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		漢字を身につけよう⑤ 1 時間  ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	知・技 ①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	

月	単元名	教材名〔領域〕 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
11	6 情報を関係づける	<b>マンガ 情報の扱い方</b> <b>【読む(解説)】</b> 1時間 <b>防災に関するデータ</b> <b>【読む(図表)】</b> 1時間 <b>「みんなであるから大丈夫」の怖さ</b> <b>【読む(記録)】</b> 2時間 <b>行事案内リーフレット</b> <b>必要な情報を</b> <b>わかりやすく伝える</b> <b>【書く】</b> 5時間 ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、内容を解釈する。(知・技(2)イ・Cウ) ◎引用や出典の示し方について理解を深め、読み手の立場に立って表記や表現の仕方を整える。(Bエ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 情報の整理の仕方について理解を深める。 ・目標を確認し、学習の見通しをもつ。 ・マンガ「二つのデータ、どう関係づける？」を読んで、情報の整理の仕方について理解する。 ・データを関係づけるうえで注意すべきことについて話し合う。 ・学校や家庭で災害について備えるべきことについて話し合う。	<b>知・技</b> ①比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) ②原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く。(Bイ) 説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを文章にまとめる。(Cア) 学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告する。(Cウ)
			2	2 資料A「防災に関するデータ」のデータをふまえて人々の行動の課題を考える。 ・「1 警戒レベルの種類と内容」から、災害時取るべき行動について考える。 ・「2 災害が起きたときに実際にとった行動についてのアンケート」から、災害時の人々の行動を捉える。 ・1と2のデータからわかる避難行動における問題点について考える。	<b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。(Bエ) ②「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(Cウ) ③「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア) ④「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(Cオ)	
			3	3 資料B「『みんなであるから大丈夫』の怖さ」を読み、緊急時になぜ逃げないのかを捉える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・「集団同調性バイアス」の意味とはたらきについてまとめる。 ・実験の結果から導き出される筆者の意見を捉える。	<b>主</b> ・粘り強く情報の整理の仕方に注意して内容を解釈し、学習課題にそって行事案内リーフレットを書こうとしている。	
			4	4 資料Aと資料Bを関連づけて、避難行動をとることの難しさについて考えを深める。 ・資料Aと資料Bから読み取ったことを関連づけて、その他の原因について考える。 ・必要に応じて、学校図書館やインターネットを活用し、関連する多様な情報を収集する。		
			5-7	5 リーフレットに掲載する内容を決め、情報を集めて交流する。 ・資料A・資料Bの学習で、自分が大切だと思ったことをまとめ、リーフレットに掲載する内容を決める。 ・リーフレットに掲載する内容にそって情報を集め、グループで情報を共有する。		
			8-9	6 構成を考えてリーフレットを書く。 ・集めた情報をリーフレットにまとめる。 ・読み手の立場に立って読み返し、表現や表記などを工夫する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■		

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>言葉発見 3 方言と共通語</b> 1 時間  ◎共通語と方言の果たす役割について理解する。(知・技(3)ウ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 地域による言葉の違いがあることを理解する。 2 方言のアクセントの特徴について考える。 3 方言と共通語の使い分けについて考える。 4 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ①共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ) <b>主</b> ・進んで共通語と方言の果たす役割について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
		<b>漢字を身につけよう⑥</b> 1 時間  ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> ①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている(1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
12	7 読みを深め合う	<b>それだけでいい 【読む(詩)】</b>  読み方を学ぼう⑤ 詩の表現技法 2 時間  ◎表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の考えをもつ。(Cエ) ○詩の中の言葉を的確に捉えて、内容を理解する。(Cウ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 詩の中の言葉を的確に捉えて、内容を理解する。 ・繰り返される表現を意識して、音読する。 ・山、海、星について、「……だけでいい」といっている理由を考える。 2 2 表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の考えをもつ。 ・第三連までと、第四連との共通点・相違点について話し合う。 →読み方を学ぼう⑤ 詩の表現技法 ■二次元コード■ ・第五連が一行のみで表現されていることの効果について、交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。  〈学びを広げる〉 →書く「詩」へ ・構成を工夫したり、表現技法を活用したりして詩を書く。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) ②「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ) <b>主</b> ・進んで文章の構成や展開、表現の効果を捉え、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。	小説や随筆などを読み、考えたことを伝え合う。(Cイ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>言葉発見 4</b> <b>比喩・倒置・反復・対句・体言止め</b> 1 時間 ◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使う。(知・技(1)オ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 比喩(直喩・隠喩・擬人法)について理解する。 2 倒置・反復・対句・体言止めについて理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ①比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) <b>主</b> ・進んで表現の技法を使い、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
		<b>詩</b> <b>思いや発見をリズムに乗せる</b> <b>【書く】</b> 4 時間 ◎自分の感じたことが効果的に伝わるように、表現を工夫し、作品全体を整える。(Bエ) ○日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理して、伝えたいことをしぼり込む。(Bア)	1	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 日常生活の中から題材を決め、集めた題材を整理して、伝えたいことをしぼり込む。 ・日常生活の中から、詩の題材を選ぶ。 ・題材の中心を明確にして、伝えたいことをしぼり込む。 2 2 自分の感じたことが効果的に伝わるように、表現を工夫する。 ・伝えたい思いが伝わる表現になるよう工夫して書く。 ・詩の表現技法を効果的に活用する。 →■二次元コード■ 3 3 推敲して作品全体を整える。 ・自分の思いがうまく表現されているか読み返し、推敲する。 ・複数の観点で比較しながらふさわしい表現を選び、作品全体を整える。 →思考の方法[比較する] 4 4 交流を通して、表現のよい点や改善点を見つける。 ・完成した詩を読み合う。 ・伝わってきた思いや表現の工夫などについて、気づいたことを交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) <b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。(Bエ) ②「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決めている。(Bア) <b>主</b> ・粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって詩を書こうとしている。	詩を創作するなど、感じたことや考えたことを書く。(Bウ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<p>トロッコ</p> <p>【読む(小説)】</p> <p>読み方を学ぼう⑥</p> <p>情景描写</p> <p>芥川龍之介の世界</p> <p>5時間</p> <p>◎情景描写と場面の展開を結びつけて内容を捉える。(Cウ)</p> <p>○人物の言動に着目して、心情の変化を捉える。(Cイ)</p>	1	<p>◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 主人公のトロッコに対する思いを捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を通読し、内容を捉える。</li> <li>・良平が、トロッコにどのような思いを抱いているかを考える。</li> </ul>	<p>知・技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ</li> </ul>	小説を読み、考えたことを記録する。(Cイ)
			2	<p>2 人物の言動に着目して、心情の変化を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の言動に着目する。</li> <li>・場面ごとに良平の心情を読み取り、その変化を捉える。</li> </ul>	<p>思・判・表</p> <p>①「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ)</p> <p>②「読むこと」において、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ)</p>	
			3-4	<p>3 情景描写と場面の展開を捉え、表現の効果について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文から情景描写を抜き出す。</li> <li>・情景描写から想像できる良平の心情と、表現の効果を考える。</li> </ul> <p>→読み方を学ぼう⑥ 情景描写</p> <p>■二次元コード■</p>	<p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えたことを記録しようとしている。</li> </ul>	
			5	<p>4 最後の一文に描かれた情景から、作品を読み深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最後の一文から受けるイメージについて考える。</li> <li>・大人になった良平と、「そのときの彼」との共通点について考える。</li> </ul> <p>→思考の方法【比較する】</p> <p>◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>→■二次元コード■</p>		
		<p>読書活動</p> <p>私が選ぶこの一文</p> <p>【話す・聞く】</p> <p>3時間</p> <p>◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する。(知・技(3)オ)</p> <p>◎話し手の考えとの共通点や相違点をふまえながら、自分の考えをまとめる。(Aエ)</p>	1	<p>◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 興味や関心のある本を選び、読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館や本の紹介リストを活用して、本を選ぶ。</li> </ul> <p>→資料編 読書の広場「小さな図書館」</p> <p>■二次元コード■</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心に残った場面や気になる言葉などを書き留めながら、本を読む。</li> </ul>	<p>知・技</p> <p>①読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)</p>	紹介や報告など伝えたいことを話したり、それを聞いて質問したり意見などを述べたりする。(Aア)
			2	<p>2 心に残った一文を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本の中から心に残った一文を選ぶ。</li> <li>・なぜその一文を選んだのか、エピソードを交えながら、自分の考えをまとめる。</li> </ul>	<p>思・判・表</p> <p>①「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。(Aエ)</p>	
			3	<p>3 グループになって、一文を紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループになって、選んだ理由と合わせて一文を紹介する。</li> <li>・質問をし合い、本の内容やお互いの考えについて理解を深める。</li> </ul> <p>◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>→■二次元コード■</p>	<p>②「話すこと・聞くこと」において、考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係に注意して話の構成を考えている。(Aイ)</p> <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に自分の考えをまとめ、学習の見通しをもって紹介したいことを話したり聞いたりしようとしている。</li> </ul>	

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		漢字を身につけよう⑦ 1時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	知・技 ①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
1	8 視野を広げる	意味と意図 ——コミュニケーションを考える 【読む(説明)】 読み方を学ぼう⑦ 要約 5時間 ◎必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える。(Cウ) ◎文章で読んで理解したことをもとに、自分の考えを深める。(Cオ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章に示された事例について、比較して捉える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・「意味」と「意図」について、本文を抜き出して整理する。 ・「ジャガイモ」と「窓」の例の共通点を見つける。 2-3 2 必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える。 ・「意図の理解」について、具体例をもとに捉える。 ・「意図の理解」が重要な理由を説明する。 →読み方を学ぼう⑦ 要約 ■二次元コード■ 4-5 3 文章を読んで理解したことをもとに自分の考えを深める。 ・SNSの例をあげていることの効果を考える。 ・筆者の考えについて、自分の経験と関連づけて考える。 ・自分の考えを文章にまとめる。 →思考の方法【関連づける】 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■  〈学びを広げる〉 →📖書く「意見文」へ ・根拠を明確にした意見文を書く。	知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 思・判・表 ①「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(Cウ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(Cオ) 主 ・進んで必要な情報に着目して要約し、学習課題にそって理解したことを文章にまとめようとしている。	説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。(Cア)



月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<p>意見文 根拠を明確にして 考えを述べる</p> <p>【書く】 6 時間</p> <p>◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考える。(Bイ)</p> <p>◎根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。(Bウ)</p>	1-2	<p>◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 交流を通して意見をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共感したり、違和感を覚えたりした体験を思い起こす。</li> <li>・交流を通して、体験とそのときの思いや感覚を明らかにする。</li> <li>・体験から導き出された自分の意見を書き出す。</li> <li>・事実や理由づけを整理して三角ロジックの形で書き出す。</li> </ul>	<p>知・技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</li> </ul> <p>思・判・表</p> <p>①「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(Bイ)</p> <p>②「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(Bウ)</p> <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く根拠が明確になるよう工夫し、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。</li> </ul>	<p>本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれをもとに考えたことを書く。(Bア)</p>
		<p>文法の窓 2 単語の類別・品詞 3 時間</p> <p>◎単語の類別・品詞について理解する。(知・技(1)エ)</p>	1-3	<p>◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「文法の窓 2」で単語の類別や品詞について考える。</p> <p>2 「文法のまとめ」「3 単語の類別・品詞」で、単語の類別や品詞について理解する。</p> <p>3 「文法のまとめ」「4 名詞」「5 副詞・連体詞・接続詞・感動詞」で、各品詞の特徴を理解する。</p> <p>4 「確認しよう 2」の課題に取り組む。</p> <p>→■二次元コード■</p> <p>◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単語の類別について理解している。((1)エ)</li> </ul> <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで単語の類別について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</li> </ul>	
		<p>漢字を身につけよう⑧ 1 時間</p> <p>◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)</p>	1	<p>1 中学校で学習する漢字を読む。</p> <p>2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。</p> <p>→■二次元コード■</p>	<p>知・技</p> <p>①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている((1)イ)</p> <p>②事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)</p> <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</li> </ul>	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
2	9 振り返って見つける	少年の日の思い出 【読む(小説)】  読み方を学ぼう⑧ 語り手・視点 5時間	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 過去を回想する構成と登場人物の相互関係を捉える。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 ・現在の場面と過去の場面に分けて登場人物を書き出し、関係を整理する。	知・技 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(Cオ) 主 ・進んで文章の構成や表現の効果を捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説を読み、考えたことを伝え合う。(Cイ)
		2	2 登場人物の人物像を、描写をもとに捉える。 ・「僕」のチョウに対する熱情を読み取る。 ・「僕」から見たエーミールの人物像を捉える。			
		◎過去を回想する構成や語り手の視点を捉え、表現の効果について考える。(Cエ) ◎登場人物の行動や心情について、自分の考えを確かなものにする。(Cオ)	3	3 登場人物の心情の変化を、描写をもとに捉える。 ・場面ごとに「僕」の心情を読み取る。 ・場面の展開にそって、「僕」の心情の変化を捉える。		
			4	4 登場人物の言動の意味を、語りや描写をもとに捉える。 ・最終場面の描写から、「僕」の行為の意味を考える。 ・「僕」の行為の意味について、考えたことを共有する。 →思考の方法【仮定する】		
			5	5 語り手の視点を捉え、表現の効果について考える。 ・エーミールの人物像を自分の視点から捉え直す。 →読み方を学ぼう⑧ 語り手・視点 ■二次元コード■ ・現在の場面が果たす役割を捉え、表現の効果について考える。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■		
		漢字を身につけよう⑨ 1時間  ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	知・技 ①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
3		<b>グループ新聞</b> 一年間の自分とクラスを振り返って <b>【話す・聞く】</b> 3時間 <b>【書く】</b> 5時間  ◎取材して集めた情報を、編集会議によって検討したり整理したりして、考えをまとめる。(Aア) ◎読み手の立場に立って文章を読み返し、表記や表現の仕方などを確かめて、文章を整える。(Bエ)	1-2	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 編集会議を開き、記事の内容を決める。 ・できごとを振り返り、記事にしたいものを書き出す。 ・四、五人のグループで編集部を作る。 ・編集部内で感想や情報を交換し合い、新聞の特徴、新聞名、記事の候補を決める。 ・記事の候補について、取材や編集会議をする。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ  <b>思・判・表</b> <b>①「話すこと・聞くこと」において、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア)</b> <b>②「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。(Bエ)</b>	互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う。(Aイ)
			3-4	2 レイアウトを決めて、記事を書く。 ・記事の場所を割り振り、字数・紙面の形と大きさ・見出し・写真の有無を確認する。 ・記事の執筆担当者を決め、文章を書き、図表やイラストを作成する。	<b>主</b> ・積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表記や語句の用法を確かめ、学習の見通しをもってグループ新聞を作ろうとしている。	本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれをもとに考えたことを書く。(Bア)
			5-8	3 記事を推敲して紙面を作り、新聞を読み合う。 ・記事を持ち寄り、読み手の立場に立って文章を読み合う。 →資料編「原稿用紙の使い方・推敲の仕方」 ・レイアウトにそって構成し、紙面を完成させる。 ・新聞を作る際に工夫したこと、新聞を読んで新たに気づいたことや感じたことを交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■		
		歌の言葉 始まりの歌	-	-	-	-